

■■第 1 回ワークショップ・ふりかえりシートの質問・意見と回答■■

■検討の進め方・ワークショップ全体について

- ガス抜きの話し合いの場にしてほしくない。
- 結論ありきではなく、議論を深めてほしい。
- 大江山の良さを生かしたものにできるように、たくさんの意見があると思うが、最終的に全員が納得できるようなものにできたらよいと思う。
- ワークショップで出た意見と市の施設再編案との間で問題が起きないようにフォローをお願いしたい。
- 目的がもう少しはっきりすると良かった。

【回答】

- 市や地域の課題を解決するために、「公共施設の種類ごとの配置方針（参考資料 2。以下、「配置方針」とする）」を基本に、ワークショップやニュースレターなどを通して地域のご意見を沢山お聴きし、地域の実情をできるだけ反映させた大江山地域実行計画を策定したいと考えています。

- 再編案検討と交通問題（バス以外の方法）は別にしてもらいたい。

【回答】

- 交通問題は生活インフラとして、公共施設利用者以外への影響も大きいため、基本的には別で検討する必要があると考えています。ただ、ワークショップの検討では、施設までの公共交通の整備状況や地域内の配置バランスなど、再配置を進める上で配慮しなければいけない事項になります。

- 制約なしで再編案が検討できると良い。

【回答】

- 地域の課題や必要なサービス機能など、自由に意見を述べてもらい、「総量の削減」と「サービス機能の維持」の 2 つの基本方針や「配置方針」に沿いながら、意見に対応した計画を検討していきます。

- 事業評価基準についての説明があった方がよかった。
- 市の方向性を明示してほしい。

【回答】

- 事業評価については「新潟市公共施設再編案（第1回ワークショップ：資料2-2。以下、「再編案」とする）」に詳細な記載がございますので、ご確認ください。
- 市の方向性として「配置方針」を基に「再編案」を作成しましたが、こちらはあくまで全市一律の基準で作成されたものであり、それぞれの地域の実情は反映されていないものとなっています。したがって、この「再編案」をたたき台とし、ワークショップ等で地域の皆さんからご意見をお伺いし、市の課題を解決しながら地域課題も解決できるような大江山実行計画を策定してまいります。

- 高齢者施設に勤めていた方など、専門的な意見も知ったらもっといいアイデアが出るのでは。

【回答】

- ワークショップ等に加え、様々な立場の方のご意見をお聴きすることも重要だと考えており、状況に応じた様々な手法で広くご意見をお伺いしていきます。

- 行政の方からも会議の中に入ってほしかった。

【回答】

- 地域の皆さんが忌憚なくご意見を述べ、地域の実情を反映させて、地域の課題の解決につながる計画となるように、ワークショップでは、職員は話し合いに参加しないこととしています。なお、検討する施設を所管する市職員が会場におります。各施設に対する質問があった際には、ファシリテーターを通じてお聞きください。

- 大江山農村環境改善センターに代わる新しい施設への展望と再編への手続きを、何年を目途に行っていくのか、明らかにしてほしい。

【回答】

- 現在行われていますワークショップのほか、ニュースレターやオープンハウスなどで皆さんからご意見を伺い、それを基に実現可能な複数の再配置案を提示し、絞り込みを行っていきます。
その後、成果報告会を実施し、地域とのコミュニケーションの成果として、作成した大江山地域実行計画案についてご確認いただき、大江山地域実行計画を策定する予定です。この実行計画において、再編を実施する施設の方針やスケジュールを明示することとしています。

- 施設の運営内容を知らなければならない。
- 大江山農村環境改善センターや風呂施設の建設の成り立ち、運用の目的等の説明があると良かった。
- 公共施設の再編案を検討するにあたり、各施設の利用状況や利用者の声など、詳しい情報が知りたい
- 利用したことがない、利用状況がわからないので意見が言いづらい

【回答】

- 施設の設置目的については下表のとおりです（各施設条例一部抜粋）。施設の利用状況については、「大江山地域検討資料（第1回ワークショップ：資料4）」をご確認ください。
また、ワークショップの検討では、施設を利用している方だけでなく、利用していない方のご意見も重要と考えています。「施設をどう見ていたのか」「なぜ利用しないのか」など、率直なご意見をお聞かせください。

施設種類	設置目的
農村環境改善センター	農村の生活環境と農業生産基盤の整備を一体的に推進し、農業及び農村地域の健全な発展を図るため
図書館	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に寄与すること
ひまわりクラブ	労働等により昼間保護者のいない家庭の小学校に就学している児童の健全な育成を図るため
老人憩の家	老人の健康を保持し、その福祉の増進を図るため

- 市はもう少し計画的に施設整備を行うべきで、今検討するのは遅すぎるのではないか。

【回答】

- 少子・超高齢化の進展や今後見込まれる老朽化による施設更新費用の増加といった課題に対応するため、平成27年7月に「新潟市財産経営推進計画」を策定し、公共施設等の効率的な管理・利活用など、経営的・中長期的な視点に基づく施設の維持管理に取り組んできました。そうした中で、これまで学校統合などの大きな施設の動きがあったら地域で地域別実行計画を策定しましたが、今後老朽化する施設が一斉に増加していくことから、公共施設の種類ごとの配置方針を整理し、それに基づく施設の再編案を作成するなど、施設再編の取り組みの加速化を図ることとしています。